

### ◆◆◆ 数値予報モデルGPVデータの配信が変わります

当センターからオンラインで提供している気象情報のうち、数値予報モデル GPV データが、11月21日（水）から下表のとおり変更になります。

これは、気象庁において予報業務用の全球数値予報モデル（GSM）の拡充が行われることによるものです。新しい全球数値予報モデル（GSM）は日本付近の水平分解能が従前の 55Km からこれまでの領域モデル（RSM）の水平分解能と同じ 20Km 間隔に細分化され、鉛直方向の層数の増加や新たに雲量（上層雲、中層雲、下層雲の各雲量および全雲量）の格子点値が予報要素に加えられるとともに、その運用回数もこれまでの 1日2回から 1日4回に拡充されます。これに伴い、従前の領域モデル（RSM）は廃止され、代わって日本付近については、新しい全球数値予報モデル（GSM）の出力を切出したプロダクト（全球数値予報モデル（日本域））が利用者に提供されます。

今回の気象庁の全球数値予報モデル（GSM）の拡充により、同庁の全球および日本付近の気象予報の向上、当該データの各国気象機関への提供による国際貢献の一層の増進とともに、民間気象事業での数値予報結果のさらなる利活用の促進が期待される所です。

#### 全球数値予報モデル(全球域)

	現行 全球数値予報モデル	新 全球数値予報モデル(全球域)
初期値	00UTC,12UTC	00UTC,06UTC,12UTC,18UTC
予報時間 ( )内は初期時刻	84時間予報:6時間間隔(00UTC) 96時間予報:6時間間隔、192時間予報:12時間間隔(12UTC)	84時間予報:6時間間隔(00, 06, 12, 18UTC) 96~192時間:12時間間隔(12UTC)
領域	全球	全球
格子系	等緯度等経度(1.25度格子)	等緯度等経度(0.5度格子:地上~100hPa、1.0度格子:100hPa~)
地上物理量	海面更正気圧(Pmsl)、地表面気圧(Psfc)、風、気温、相対湿度、積算降水量(RRT)	海面更正気圧(Pmsl)、地表面気圧(Psfc)、風、気温、相対湿度、積算降水量(RRT)、雲量
P面物理量	高度(Z)、風(U,V)、気温(T)…16層 相対湿度(RH)、上昇流( $\omega$ )…7層	高度(Z)、風(U,V)、気温(T)、上昇流( $\omega$ )…17層 相対湿度(RH)…8層

#### 全球数値予報モデル(日本域)

	現行 領域数値予報モデル	新 全球数値予報モデル(日本域)
初期値	00UTC,12UTC	00UTC,06UTC,12UTC,18UTC
予報時間 ( )内は初期時刻	51時間予報 地上1時間間隔、P面3時間間隔	84時間予報(00, 06, 12, 18UTC)、地上は1時間間隔、P面は3時間間隔 90(87)-192時間(12UTC)、地上は3時間間隔、P面は6時間間隔
領域	北緯50度・東経120度~北緯20度・東経150度	北緯50度・東経120度~北緯20度・東経150度
格子系	等緯度等経度(地上0.2×0.25度、P面0.4×0.5度格子)	等緯度等経度(0.2度×0.25度)
地上物理量	海面更正気圧(Pmsl)、風、気温、相対湿度、時間降水量(RR1)、雲量	海面更正気圧(Pmsl)、地表面気圧(Psfc)、風、気温、相対湿度、積算降水量(RRT)、雲量
P面物理量	高度(Z)、風(U,V)、気温(T)…11層 相対湿度(RH)、上昇流( $\omega$ )…7層	高度(Z)、風(U,V)、気温(T)、上昇流( $\omega$ )…16層 相対湿度(RH)…12層